



大井町立相和小学校 学校通信

そうわ通信 1月号

《発行日》

令和4年1月18日

《発行者》

露木 光人

《学校教育目標》 豊かな心をもち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

少し遅いご挨拶となり申し訳ありません。令和4年がいよいよスタートしました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校をいろいろな場面で支えてきた6年生も、いよいよ卒業の日を迎えるまでのカウントダウンが始まります。相和小の伝統を引き継いだ11名の子どもたちは、そろそろ「6年生」ではなく、「卒業生」と呼ばれることになります。サブリーダーとしてともに支え合ってきた5年生を中心とした在校生は、お別れを迎えるその日までに、一体何ができ、何をしなければならないかを考える時が来ました。今の46名で過ごすのも、あと2か月と少しです。

一年の計は「書き初め」にあり ～自身で決めた四字熟語で今年を誓う6年生など～ 校内書き初め会【1月12日（金）】



毎年恒例の、校内書き初め会が行われました。1・2年生は硬筆で、3～6年生は毛筆で学び、冬休み前の練習、冬休み中の練習、そして当日と3回にわたり取り組んできました。

私自身、小学校6年間、習字を習い続け（馬場にある東光院にて）、少しでも丁寧な字を書こうと毎週日曜日に通っていたことを思い出します。本当は中学校でも続けたかったのですが、さすがに部活との折り合いがつかずやむなく辞めてしまいましたが、習っていて本当によかったと感じています。

さて、子どもたちの様子はどうだったかというと、真剣な取組ではありましたが太筆の使い方になかなか慣れていないところもあり、縦画・横画の強弱やはね・はらいのしなやかさを表すのには苦戦をしているように見えました。ただ、のびやかに、堂々と大きく書くという点においてはすばらしく、見ごたえのある作品に仕上がりました。

なお、6年生は自分で選んだ四字熟語を書いていました。そこには、もうすぐ卒業し新たなステージに向かう意気込みが記されています。少し寒かったですが、引き締まった一日になりました。



←これまでの練習を生かし、一字一字を丁寧に書いている5・6年生の様子

先生からのアドバイスを真剣に→聞いている3年生



「子育てアラカルト⑦ ～体力は大丈夫？～」

1月8日の神奈川新聞に「小中 コロナで体力低下」という記事が掲載されました。スポーツ庁の2021年度の全国体力テストの結果（小学5年と中学2年の集計）によると、前回の2019年度（2020年度はコロナ感染拡大のため中止）と比べ、点数化した多くの実技で体力が低下が鮮明になったと書かれていました。こここのところ、毎年のように「過去最低」という文字を見ることが多かったのですが、それは今回も同様でした。

原因は、いろいろとあるとは思いますが、新型コロナウイルス感染拡大による行動制限はその一因と思われますが、日常的に体を動かす時間が減少したことが最大の要因ではないでしょうか。本校では、コロナ対策で実施を見送った時期もありましたが、朝のなわとび・マラソントイムの充実を図っており、また「休み時間は子どもが主体的に考え、自由に活動する時間」ととらえ、子どもたちがグラウンド等で走り回る姿をよく見かけます。しかしながら、おそらくまだまだ足りないのではないかと考えます。体力は、生きていくうえで根幹となる大切なものです。精神面や学力面にも、大きな影響を及ぼすのは言うまでもありません。体力向上のみならず、生涯にわたり健康でいられるよう、学校としても環境整備に努めていきたいと思ひます。ぜひ、ご家庭においても話題にいただき、何に対してもひたむきにやり遂げる子どもを、共に育てていきましょう。



修学遠足にGO！～日光修学旅行はいけなかったけれど～ 6年生「静岡県浜松市・御殿場市」方面【令和3年12月17日】

今の6年生は、新型コロナウイルス対応の関係で、昨年度の林間学校、そして今年度の日光修学旅行に行くことができず、いずれも代替行事となりました。実施できたとはいえ、本来泊を伴う行事がいずれも日帰りということになってしまいました。

そのような中であっても、さすが6年生11名はとても前向きでした。自分たちで案を出し行き先を決めて、バスの中での過ごし方も工夫し、充実した修学遠足になったようです。私自身も、そのような6年生を見て、うれしく思いました。



朝会での話【1月11日】

このところ、朝会では学校教育目標に関わることを中心に話すようにしています。1月11日は、「豊かな心をもつ子」について子どもたちとともに考えました。

本校では、「豊かな心」については、具体として「思いやりのあるやさしい子」をめざす児童像と掲げています。とかく私たちは、何かをしてあげることが“やさしさ”と捉えがちですが、それがおせっかいになってしまうこともあります。実際、自分でできるよう頑張っているときに、手助けされてもあまりうれしくないという経験をした方は少なくないのではないのでしょうか。

これは、身体の諸感覚が不自由な方に対しても同様です。最初から、「〇〇ができない人」と決めつけて対応しても、お互いに幸せには感じられません。何よりも大切なのは、対話等により「相手を理解する」ことであるという話をしました。

相和っ子は、この点についても育ってきてはいますが、まだ道半ばです。道徳教育を中心に、全教育活動で“思いやりのあるやさしい子”を育成していきます。

相和小写真館

昇降口から、東階段で2階に上がる手前に掲示されているものです。子どもたちが将来をイメージして記載したものをまとめました。キャリア教育の一環です。

(令和3年12月22日撮影)



学校公開は中止に…

昨年の12月16日に周知しているところでしたが、1月14日にお伝えさせていただいたとおり、今週末21日の学校公開は中止とさせていただきます。今回は、合同体育の時間を全学年で位置付け、体づくりを中心に授業実践を行う予定でした。また、今号で紹介した書き初めについても展示していたのですが、残念です。

これまで、なかなか学校を公開することが難しかった中、やっと、と思っていた矢先のことでした。本当に申し訳ありません。

相和幼稚園の園児との交流 ～ 1年生が2年生になる準備を… ～

令和3年12月13日（月）に、相和幼稚園の年長児3名が来校して、本校の1年生7名とドッジボールを中心に交流しました。学校では一番の末っ子となる子どもたちが、年長児のことを考えながら優しく促したり、ボールを譲ったりする姿を見ることができ、成長を実感した次第です。

でも、まだまだ物足りません！本当の2年生になるまでの修業(?)は、まだまだ続きます…。

